

3
2012

主題 (2011/2012)

国際会長 Audere est Facere - To dare is todo
「とにかくやろう-成せばなる」

アジア会長 Audere est Facere - To dare is todo Mission with Faith
「とにかくやろう-成せばなる」 「信念をもって使命をはたそう」

西日本区理事 Contribute to the Community through Active Services with Love
「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」

中西部長
「であいで愛」

大阪クラブ会長 There is no time like the present: One for all , all for one
「一期一会 : ひとりひとりを大切に」

会 長	牟 大 盛
直前会長	脇 本 博
副 会 長	森 嶋 弘 明
	清 水 汎
	豊 島 正 利
書 記	尾 和 信 孝
会 計	北 村 知 三
ブリテン	松 原 伸 幸
連絡主事	田 尻 忠 邦

【今月の聖句】

「明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。
その日の苦勞は、その日だけで十分である」

マタイによる福音書 6 章 3 4 節

【3月例会プログラム】(EF・JWF 強調月間)

とき：2012年3月13日(火) 18:15 ~ 20:15
ところ：大阪土佐堀YMCA 9階

司会 松原 伸幸
牟 大盛会長

1. 開会の鐘
2. クラブソング
3. ゲスト・ビジター紹介
4. 会長報告
5. 「日々の糧」 斉唱・晩餐
6. スピーチ 西日本区ファンド事業主任 三牧 勉さん(茨木クラブ)
テーマ：「ファンド事業について」
7. 誕生日・結婚記念日のお祝い
8. ニコニコ・インフォメーション
9. YMCA ニュース
10. 閉会の鐘 牟 大盛会長

受 付：清水民夫、牟、田尻メネット



於 2月例会

【第2例会のご案内】

とき：2012年3月21日(水) 19:00 ~ 20:30

(3月20日(火)が祝日ですので、翌日となりました。)

ところ：大阪土佐堀YMCA 6階 601号室(変更になることがありますので、ご注意ください。)

今月のお誕生日：武村光雄（06） 條イサヨ（15） 松原伸幸（15）

メネットさんお誕生日：向井満喜（08）

結婚記念日：武村光雄（05） 宇野義男（21） 向井忠治郎（27）

【聖句に寄せて】

宇野 義男

私たちの人生では、折にふれて、物事をふりかえり反省することは大切なことです。立ち止まって考える、こういうことの繰り返し中から、つぎに進む方向や方法を見つけ出していく。この聖書の言葉は私が不安におののき強度の不眠症におそわれたとき、私に大きな力を与えてくれました。

【2月出席状況】

2月出席状況		在籍	例会出席	アメ ツイ ブク	メ ネ ット	ゲ ス ト	ビ ジ タ ー	出席率	二献 コ金 ニ コ
	正会員	14	9		1	1	4	64.3%	13,000円
	功労広義会員	4							
	合計	18	9		1	1	4		

2月例会の出席者

メネット：脇本真知子メネット

ビジター：森本栄三さん、金田恒さん（高槻クラブ）、工藤義正さん、奥田時夫さん（土佐堀クラブ）

ゲスト：井伊修一さん（五条メン友人）

【元ワイズメン前島正一さんを偲び】

宇野 義男

“メネットと共に楽しい例会づくりのリーダー的存在”

約60年に亘るYMCAへの奉仕をもとに、ワイズ運動の原点に立脚し、ワイズメンズクラブ発展のために、数々の顕著な貢献をされました。

例会出席はメネットさん共々100%を維持され、大阪クラブのモットーとしていた“メネットと共に楽しい例会づくり”のリーダー的存在でありました。メネットさんは大阪のメネットクラブ創設者の一人として、副会長・書記等に貢献され、大阪クラブのメネット会の良きアドバイザーとして活躍されました。前島メンは外科医として開業されておりましたが、YMCA阿南国際海洋センターとYMCA六甲研修センターのキャンプのキャンブドクターとして奉仕されました。このことを前島メンにお聞きすると、「六甲とは家が近いから……」と言われていたことが想起されます。

特筆すべきことは、入会以来約50年間、ほぼ毎月BFに新切手を多くささげられました。聴覚障害青少年国際キャンプ活動には、積極的な支援を頂いたことを深く感謝いたしております。メン・メネットさん共にキリスト者としての深い信仰をもっておられ、時々、私たち夫婦共々、前島夫妻の大阪教会と私たち夫婦の池田五月山教会生活を話し合ったことも楽しい思い出です。尊敬する前島メンに深い敬慕の情を捧げます。

（メネットさんに、一度病院にお見舞いに伺うことを申し上げておりましたのに、果たせませんでした。その上告別式にも失礼致しました。私は、1月4日夕刻、急に体調崩し、救急入院し、治療を受け、1月15日退院いたしました。今は平常に戻りつつあります。YMCAと大阪クラブから通知がありましたのに、このようなことで失礼致しましたことを深くお詫び致します。）

【CSよりお願い】

1月22日(日)年賀ハガキの当選番号の発表があり、4等(お年玉切手シート)は下2桁(27)(44)が当選番号となりました。

当選された方は郵便局で切手に換えて、封筒に入れ、枚数と名前を書いて3月例会にお持ち寄り下さい。なお、近年当選数が少ないので、募金を同封して提出して頂ければ幸いです。

献品は下記の住所にお願いします。

「釜ヶ崎いこいの家」 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋2-5-23 TEL:(06)6631-2169

【2月例会BF・CS報告】

2月例会の集計報告です。

BF	使用済み切手	清水(汎)メン			
	リストコイン(集計中)	”			
CS	お年玉切手	15枚(松原メン14枚、清水汎メン 枚)	@130	¥1950	
	献金	(北村、松原、條、尾和)		¥3500	
					合計¥5450

釜ヶ崎いこいの家へ¥20000を牟会長通じて献金。

【クラブ役員会報告】報告者：書記 脇本 博

日時：2011年2月21日19:00-20:30

場所：大阪土佐堀YMCA 601号室

出席者：牟大盛会長・五条孝次郎・松原伸幸・脇本博

協議内容

1)3月例会(EF,JWF)プログラムについて協議した。

1ページ参照のこと

2)各クラブ記念例会 申し込み状況について

今年は記念祝会が多い。特定の人に偏って負担をかけないように、手分けして参加して頂くよう皆様のご協力を御願ひすることになった。参加希望者は脇本書記まで。

日付・開始時間	クラブ名	周年名称	登録費	開催場所	出席者
2月8日(水) 18:30-	なかのしまC	15周年	¥2,000	土佐堀YMCA	牟・
2月19日(日) 13:30-	大阪西C	25周年	¥5000	Hクライトン 新大阪	北村
2月25日(土) 16:00-	京都部プリンス C	25周年	¥1万	京都プリンスH	牟・豊島
4月15日(日) 14:40-	大阪高槻 C	30周年	¥8000	たかつき京都H	清水、脇本博、 脇本真知子
4月22日(日) 16:00-	京都パレスH	40周年プラス 1例会	1万円	京都Hオオクラ	清水、豊島

5月13日(日) 未詳	豊中クラブ	50周年	未詳	千里ホテル	清水
4月1日(日) 12:00-	長野C	35周年	未詳	河内長野市立 市民交流センター(キックス)	
5月11日(金) 18:55-	堺C	50周年	¥8000	Fusion(フュージ ョン)4 なんばパ ークス8F	清水、牟 大盛
6月23日(土) 12:00-	泉北C	30周年	¥8000	堺リーガロイヤ ル	清水

3) パサデナクラブ夏期留学生交換事業について

希望者募集中

期間 8月上旬 10-14日間 程度 航空運賃自弁、滞在費、食費無料

大阪クラブから送る年です。子弟またはお孫さんまたはご親戚の大学生で希望者はおられないでしょうか？

4) 2012 国際HHキャンプの案内

香港、マカオ 7月31日-8月7日、日本語版パンフができあがり次第、早急に広報活動を開始する旨確認した。

5) チャリティーボールについて

2月25日(土)大阪ワイズメンズクラブとして国際HHチームエントリーした。

6) 今後の例会について協議した。

5月例会の具体案は来月協議の予定。

4月例会(Yサ)スピーカー 豊島メン

5月例会(LT)特別例会 キャッスル 未定

6月例会(評価、計画)

7) その他

五条メンより「サラワクジャパンソサイエティ」(NPO設立予定)についてのお話があった。ブリテンで数回に渡って紹介して頂くことになった。

今後の行事

3月10-11日 次期会長、主査研修会

6月9-10日 区大会

2012 国際HHキャンプ 香港、マカオ 7月31日-8月7日

会計より報告(会計 尾和信孝)

事業費 振り込み内訳。

Y'サ、コース	¥27000
CS	27000+5450
TOF	26000
BF	25000 (ニコニコより)

【2月例会報告】

北村 知三

2月14日(火)2月例会はいつもの9階ではなく3階の301号室で行われた。今月はTOF月間で食費節約のため、いつものビュッフェ形式ではなく、サンドウィッチにペットボトルのお茶というメニュー。冷たそうな雨が降ってはいたが、ここ数日の寒さに比べれば少し緩んだように感じた。

スピーチは昨年末に入会した五条氏で、「チュニジア近況とサラワク(ボルネオ)との交流」のはなし。JICAの派遣員としてチュニジアに行き日本との交易などその国に深くかかわり、日本チュニジア協会の会員となった。一昨年例会でゲストとしてクラブのスピーチをお願いした折には、日ごろあまり報道されないチュニジアという国の風土、産業、人々の暮らしぶりを興味深く聴くことができた。ところがその数ヵ月後に同国で革命が起こり、一躍チュニジアという国がクローズアップされるようになった。さらにその影響が近くの国々に広がって、わずか一年の間に近辺地域4,5カ国で革命が起こりまた起こりつつあるという、ドラマチックな展開となっている。そこで今回のスピーチでは、革命のあとのチュニジアの現況などの話となった。チュニジアのあと、エジプト、リビア、シリア(進行中)などと続く革命を通じて、フェイスブックなどソーシャルネットワークが最高手段として作用したこと。特にチュニジアは1ヶ月で革命を成し遂げた。近辺地域数ヶ国もこの1年の間に転覆した。対米依存が薄らいできた。イスラム世界は続いておりむしろ復古している。その中でイスラム穏健派が主流のチュニジアは民主化が進んでいる、など話された。五条氏が昨年チュニジアへ行ったときには、氏を講演者に招いての講演会が開かれ、聴講者多数のなかで「アフリカのシンガポールになれ」と話したとのこと。

次に、やはりJICAの関連で、昨年からボルネオ島西岸のマレーシア領サラワク州に行き、サラワクジャパンソサイエティー準備室を設置して活動を始めようとしている。現地にサラワクビレッジというNPO設立を目指して、英語留学 ロングステイ保養 宿泊施設などの活動を提案している。ボルネオ島は、グリーンランド、ニューギニア島に次ぐ地球上3番目に大きな島で、会話ではブリティッシュイングリッシュが使われ、対日感情もよく、赤道直下というイメージの割りに密林などが少なく、リゾートゴルフ場などの緑がとても美しい。まるで天国のような地球上最後の楽園である。老後を過ごすには健康にも精神的にも素晴らしく良いところで、今後活動を継続していきたい、と言う話であった。

氏は商社や外資系企業に勤務しJICAの活動など、東西ビジネス圏にあって国際合併事業の開発などに触媒的役割を果たしてきました。積み上げた豊富な経験でスケールの大きい国際人として、ビジネスだけでなく人との触れ合いを通じての素晴らしい活動。古希という年齢にもかかわらず変わらない若々しい行動力。気持ちは「青春」と言うにふさわしい活躍です。またユーモアも交え気負うことなく、パワーポイントでの視覚的な説明もわかりやすい。

ビジターで久しぶりに来られた高槻クラブの森本元理事と金田元部長が、高槻クラブの30周年記念例会(4月15日(日))のアピール。また土佐堀クラブの奥田メンと工藤メンが、土佐堀YMCA運営委員として、3月ごろまで続けると言うクリスマス献金と、チャリティーボーリング(2月25日(土))のアピールをされました。

【大阪なかのしまクラブ15周年記念例会参加報告】

会長 牟 大盛

2012年2月8日に、土佐堀YMCA10Fチャペルで、50名ほどの参加者で大阪なかのしまクラブ創立15周年の記念例会が特例会方式でもたれました。本来なら、2011年12月27日が創立記念日ですが、昨年3・11東北大地震を受けて今回の特例会となったとのこと。

川越さつき会長の開会点鐘で開催し、ゲスト・ビジター紹介につづき「15周年記念事業報告が生雲委員長よりありました。いわく、2011年8月から12年1月までのニコニコ献金を「東日本大震災支援」のた

め積み立て、支援献金とするとのことでした。また、今後長く続けなければならない支援活動のありかたも共にかんがえる時間としたいとのことでした。

講演は、大阪Y M C Aから盛岡Y M C A宮古ボランティアセンター長となられた池田勝一氏による「本当の隣人となるために」との題目です。いわく、津波による災害は家屋の全壊は勿論ですが、海底から湧き上がった人体に害を及ぼすヘドロの問題が意外と深刻とのこと。乾けば、粉塵が肺炎を起こし、破傷風の原因ともなりまことに厄介な代物とのこと。それと、物質支援の継続の必要は勿論ですが、それと合わせて聖書の「すべての人をひとつとして下さい。」「人にしてもらいたいと思うことは、何でもあなたがたもしなさい。」との聖書に従い、被災者と寄り添う活動が必要と強調されました。また、今後の課題としては、仮設住宅問題のなかでも個人が閉じこもりがちなので何とかして表に出るような、運動フェスティバルや声かけ訪問など真に寄り添う運動が必要と強調されました。

2月はT O Fでもあり、登録費の大半も記念事業献金とあわせてY M C Aに寄付されました。隣人に寄り添うことの難しさとともに、形だけでない、心の復興も真に大切であると実感した例会でした。

【大阪西クラブ25周年記念例会参加報告】

北村 知三

2月19日(日)13:30からホテル「クライトン新大阪」で、大阪西クラブ25周年記念例会が行われました。記念イベントの「東日本大震災復興支援落語会」は、「森乃福郎師匠」と「露の団四郎師匠」の高座落語のお囃と、コンビでのにぎやかな「大阪にわか」が披露されました。

出席者はおよそ100名。途中大震災復興支援の献金がなされ、支援金が大阪西クラブD B C西連合ヘキサゴン(東京西、京都ウエスト、大阪西、神戸西、広島西、熊本にし)を代表して、当日出席されていた東京西クラブのメンバーに渡されました。被災地ワイズメンズクラブなどに渡されるそうです。

また谷会長から、I B Cの台中エパーグリーンクラブと数年前の台中地震支援で行った植樹のその後の視察ツアーを、2月末に記念企画しているという報告がありました。

活発な交流をクラブのモットーとする西クラブらしい楽しい記念例会でしたが、大阪クラブからの参加者は、北村だけでした。

【京都プリンスクラブ25周年例会に集う】

豊島 正利

京都プリンスワイズメンズクラブの皆さん、設立25周年おめでとうございます。25周年の記念例会に出席する機会を与您いただき感謝申し上げます。

私は今回の25周年記念例会には何があっても参加したいと願っておりました。その思いは、次のような岡西会長との交流の背景があつてのことです。

1. 近くは、大阪クラブの2011年11月例会に、岡西会長が25周年例会のアピールにわざわざ来ていただきました。例会の帰路、梅田でビールを飲み京都まで一緒に帰ったこと。
2. 2005年9月、岡西会長の長女香菜さんの結婚式に招かれ北海道へ行った折に岡西会長とゴルフを楽しんだこと。
3. もう昔のことになりますが、私と家内が1997年のアジア大会(韓国済州島)に参加したとき、済州島から関西空港まで岡西ご夫妻と一緒に帰ってきたことがありました。

私は京都部あるいは京都のワイズメンズクラブの記念例会に参加するたびに、そのスケールの大きさとみやびさに圧倒されます。今回も予想に違わず、すばらしくダイナミックな例会に感動しました。参加者は200名をはるかに越える大例会となりました。

第一部の記念式典は、同志社女子高校マンドリンクラブの演奏でオープニングと岡西会長の開会点鐘で始められました。岡西会長は、25年の活動を振り返り、時々のエピソードを交えながら、これまでの反省と

これからの京都プリンスクラブ運営の基本理念として、次のような二点を強調されました。

- ◆ 未来の子供たちを支える
- ◆ 東日本大震災の被災者の皆様に寄り添う気持ちを持ち続ける

第二部の記念公演は、若者によるパフォーマンスとして、同志社大学のタップダンス、同じく同志社大学のフラダンス、そしてノートルダム女子大・龍谷大学の「京炎そでふれ！輪舞曲」のパフォーマンスが披露されました。25周年というはれの舞台を若者に提供し日ごろの成果を披露する機会を与えるというやさしい親父の計らいを感じることができました。京都プリンスクラブのカラーを遺憾なく発揮したプログラムだったと思います。

第三部の記念祝宴では、大阪河内クラブと大阪西クラブの皆さんと同じテーブルでした。私の席の後ろに宝塚クラブの三品ミチコさん、石田由美子さん、そして高槻クラブの森本栄三さんご夫妻が居られました。

今後の京都プリンスワイズメンズクラブのますますのご発展を記念いたします。ありがとうございました。

【Y M C A ニュース】

第227回大阪Y M C A 早天祈祷会

日 時：3月16日（金）7：30～8：30

場 所：大阪Y M C A 会館10Fチャペル

証 し：宮本修司氏（大阪南Y M C A スタッフ）

参加費：300円（軽食付き）

【今後の行事予定】

今後の行事は、次のとおりです。積極的な参加をお願いします。

- 1．大阪長野クラブ35周年記念例会・・・4月1日（日）12:00～ 於：市民交流センター
- 2．高槻クラブ30周年記念例会・・・4月15日（日）14:40～ 於：たかつき京都ホテル
- 3．長浜クラブ25周年、彦根シャトークラブ30周年合同例会・・・4月15日（日）18:30～
於：北びわこホテルグラツイエ（長浜市港町4-17）
- 4．京都パレスクラブ40周年記念例会・・・4月22日（日）16:00～ 於：（京都）ホテルオオクラ
- 5．堺クラブ50周年記念例会・・・5月11日（金）18:55～ 於：なんばパークス8Fフュージョン
- 6．豊中クラブ50周年記念例会・・・5月13日（日）15:00～ 於：千里阪急ホテル
- 7．第15回西日本区大会・・・6月9日（土）～10日（日） 於：滋賀県立文化産業交流会館
長浜ロイヤルホテル
- 7．泉北クラブ30周年記念例会・・・6月23日（土）12:00～ 於：堺リーガロイヤルホテル

参加希望者は、脇本書記宛（090-9286-0108 fax 06-6761-9713）ご連絡ください。

【編集後記】

梅が咲き、桜の開花が待たれる季節となりましたが、花粉症の方々には、辛い季節の到来です。今年度は、記念例会がいつもより多い印象がありますが、皆様手分けしてご参加をお願いします。私事になりますが、還暦を間近にしますと、体にガタが来るようで、ひざ痛・歯痛に悩まされています。（編集委員：松原伸幸）